

共用品推進機構だより 2015年07月10日 (13)

## 目次

### (54) 共用品推進機構関連記事

- ▽ 「共用品と医療機器 より多くの人が使えるモノ・サービス／星川安之」
- ▽ 「Think Accessible, Designed for All」
- ▽ 「ブログを更新しました！」
- ▽ 「わたしは共用品 ボディソープの容器／星川安之」

### (55) 賛助会員ニュース

- ▽ 「活動報告会の様子をブログにアップしました！」
- ▽ 「おもちゃ大賞 2015 色情報 音声と LED で／タカラトミー」

### (56) 各種催しとお知らせ

- ▽ 『第25回バリアフリー推進ワークショップ ほじょ犬を知ろう』  
開催のご案内／交通エコロジー・モビリティ財団

### (57) 新刊紹介

- ▽ 『大きな文字の地図帳 7版』
- ▽ 『特別支援教育のプロが通常学級の気になる子の「困った」を解決します!』
- ▽ 『車椅子やベッドの上でも楽しめる子どものためのふれあい遊び 55 増補』
- ▽ 『いっしょに走ろう』
- ▽ 『自閉症スペクトラムがよくわかる本 イラスト版』
- ▽ 『ことばのバリアフリー 情報保障とコミュニケーション』
- ▽ 『みつけちゃ王』

---

### (54) 共用品推進機構関連記事

- ▼ 「共用品と医療機器 より多くの人が使えるモノ・サービス／星川安之」

より多くの人が使えらる製品「共用品」は、今までに対象になっていなかった機器等があります。それは、専門家が使うもので、その一つが医療機器です。

経済産業省では医師のニーズに応える医療機器を、メーカーと共に開発する事業を支援しています。その中で、看護師のニーズも必要との意見が、有識者から出てきました。同事業の支援機関は当機構に相談に来られ、調査を行うことになりました。

調査は、看護師ニーズと共に、医療機器メーカー、医療機器流通機関にヒヤリングを行いました。製品の他にも行為、意識、情報、体制などをきっかけとした発言がありました。話題となった製品は、のべ421種類でした。

日本は、どの国より早く超高齢社会に突入し、さまざまな変化にいかに対応するかが問われています。医療も病院から在宅へと大きな変化をせまられています。

今回の調査はほんの入口に立ったかどうかのものですが、今後、さらにさまざまなニーズを確認し、この超高齢社会に対応した機器が創出される仕組みを確立することが必要となってきたと強く感じました。

(福祉介護テクノプラス 2015年4月号より抜粋)

#### ▼ 「Think Accessible, Designed for All」

シンガポールの標準化機関である SPRING Singapore の機関紙「Good To Go」2015年6～7月号に、当機構・専務理事 星川安之のインタビューが掲載されました。インタビューのテーマは、「日本での高齢化に伴うシルバー産業のトレンドと標準化」についてです。

掲載ページ（英語）（PDF）

[http://www.spring.gov.sg/Resources/Documents/GoodtoGo/Good\\_To\\_Go\\_JunJul2015.pdf](http://www.spring.gov.sg/Resources/Documents/GoodtoGo/Good_To_Go_JunJul2015.pdf)

#### ▼ 「ブログを更新しました！」

- ・平成26年度共用品推進機構 活動報告会 講演会編
- ・平成26年度共用品推進機構 活動報告会 法人・団体等紹介編
- ・平成26年度共用品推進機構 活動報告会 交流会編
- ・神奈川県立保健福祉大学の学生の皆さんに講義

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

▼「わたしは共用品 ボディソープの容器／星川安之」

2015年4月、スーパーマーケットやコンビニ等に、側面と上部に1本の凸線がついた花王株式会社のボディソープ（「ビオレ u」ボディウォッシュ）が並び始めました。このたった一本の凸線で、目の不自由な人達は公衆浴場やホテルなどで、シャンプーやリンス容器と触って識別することができるようになります。

91年11月、リンス容器と触って識別するために容器の側面にギザギザが付いたシャンプーが世界で初めて登場しました。実用新案を取得しながらも、無料で公開した1社の工夫は、企業の垣根を超え、日本で販売されている多くのシャンプーに広がりました。

実はその時、課題として残っていたのが「ボディソープ」容器との触覚による識別でした。

今回も目の不自由な人達からの声をきっかけに、多くの関係機関が集まり検討され、日本工業規格（JIS）にも採用され実現に至ったものです。是非、一度、指で確認していただけたらと思います。

（シルバー産業新聞 7月10日17面より抜粋）

---

（55）賛助会員ニュース

▼「活動報告会の様子をブログにアップしました！」

7月6日に開催されました「平成26年度活動報告会」の様子を、ブログにアップしました。講演会、交流会を写真入りで紹介していますので、是非、ご覧ください。

<http://www.kyoyohin-news.org/>

▼「おもちゃ大賞2015 色情報 音声とLEDで／タカラトミー」

日本玩具協会主催の日本おもちゃ大賞2015の授与式が6月16日、千代田区の東京国際フォーラムであった。「共遊玩具」部門の大賞には、視覚障害者の子供も楽しめる点が高く評価された、色センサーの技術を生かした新商品が選ばれた。

障害があっても他の子供と一緒に遊べるように配慮した、「共遊玩具」部門に出展された34点の中から大賞に選ばれたのは、タカラトミーが9月10日に発売する「JOUJOU（ジョジョ） みつけてみよう！ いろキャッチペン」。24色を読み取れる色センサーと音声を再生できるスピーカーを持ち、対応するアプリの入ったタブレット端末で使えるペン型のおもちゃ。身の回りのものにセンサー部分を当てると読み取った色の情報が音声とフルカラーのLEDで分かる。さらに、それがどんなものと関連する色なのかを音声で教えてくれる。付属の「いろさがシート」のイラストがエンボス加工で凸凹しており、触って確認しながら使える点も評価された。

（点字毎日活字版 7月2日3面より抜粋）

---

#### （56）各種催しとお知らせ

##### ▼ 『第25回バリアフリー推進ワークショップ ほじょ犬を知ろう』 開催のご案内／交通エコロジー・モビリティ財団」

ほじょ犬をとりまく現状と、鉄道・バス・飛行機・船・タクシーなどの公共交通機関でのほじょ犬のあり方についてご講演いただきます。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての課題もお話しいたします。また、介助犬のでモストレーションも予定しています。

日時：2015年08月20日（木）10:00～16:00

場所：横浜ワールドポーターズ 6階イベントホールA  
神奈川県横浜市中区新港 2-2-1

テーマ：夏休みイベント ほじょ犬を知ろう！

講師：（社福）日本介助犬協会 事務局長 高柳 友子氏  
介助犬ユーザー 佐藤 美樹氏

プログラム

##### 【第1部（10:00～12:00）小学生以上の方向け】

夏休みの宿題対策、ほじょ犬のお仕事を見て、聞いてみよう！  
（ワークシートや介助犬のデモンストレーションあり）

##### 【第2部（13:30～16:00）交通事業者や自治体、一般の方向け】

公共交通機関におけるほじょ犬の現状と課題についての講演  
（介助犬のデモンストレーションあり）

参加料：無料

定員：第1部 40名（先着で認定証やグッズプレゼントあり） 第2部 60名

※なお第1部は当日参加も可能です

申し込み：以下のページより入力フォームに記入する。

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20150820.html>

---

## （57）新刊紹介

### ▼『大きな文字の地図帳 7版』

日本も世界もまるごと収録した、大きな文字で目にやさしい地図帳。「世界の国旗」「地下鉄路線図」を巻末に掲載する。福岡、北九州、広島、岡山、函館、札幌の都市図を新設した7版。ルーペ付き。

著：帝国書院

発行：帝国書院

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-8071-6207-9

### ▼『特別支援教育のプロが通常学級の気になる子の「困った」を解決します！』

集団に入りにくい子ども、授業を中断させる子ども、指導が全く入らない子ども…。特別支援教育のプロが、担任教師の困惑や迷い、あるいは児童生徒の実態について、事例をもとに紹介する。

著：七木田敦（ななきだ・あつし）

発行：学研教育出版

本体価格：1500円（税別）

ISBN：978-4-05-406203-0

### ▼『車椅子やベッドの上でも楽しめる子どものためのふれあい遊び 55増補』

病気やケガ、障害などで思うように動き回れない子や車椅子に乗っている子、歩き出す前の小さな子などが楽しめる遊びを紹介します。子どもの五感を刺激したり、心や体の発達をうながす楽しい遊びがいっぱいです。

著：青木智恵子（あおき・ちえこ）

発行：黎明書房

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-654-01963-2

▼『いっしょに走ろう』

本気の思いが本気の仲間を引き寄せる！難病で視力を失う過酷な現実の中、走ることに生きる役割を見出した著者。ピュアな笑顔で挑戦を続けるブラインドランナーが劇的な半生を綴る。

著：道下美里（みちした・みさと）

発行：芸術新聞社

本体価格：1500 円（税別）

ISBN：978-4-87586-434-9

▼『自閉症スペクトラムがよくわかる本 イラスト版』

「対人関係」が苦手な「こだわり」が強いというのが大きな特徴である自閉症スペクトラム。その原因から受診の仕方、育児のコツまで、基礎知識と対応法をイラストとともに解説する。

監修：本田秀夫（ほんだ・ひでお）

発行：講談社

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-06-259793-7

▼『ことばのバリアフリー 情報保障とコミュニケーション』

「すべての人に知る権利を保障し、だれもが意見や情報をやりとりすることができるようにすること」などを目標に、情報・コミュニケーションをめぐる日本社会の問題を整理し、将来の展望をみすえる。

著：あべやすし

発行：生活書院

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-86500-039-9

▼『みつけちゃ王』

人々がみんなで喜ぶことをみつけて暮らしている、みつけちゃ王国。いつも前向きに考える王様といっしょに、工夫する楽しさや、視覚障害者のためのデザインなどをみつけてみましょう。点字を併記した楽しい絵本。

文：金子修（かねこ・おさむ）

絵：たかはしこうこ

発行：桜雲会

本体価格：2800 円（税別）

ISBN：978-4-904611-37-1

---

（編集後記）

- ・「高さ」が使う人の使い勝手に大きな影響を及ぼす単体の機器、及び設備に付いた機器は、世の中に数多く存在する・・・と、 とある委員会に参加して改めて思った。

各種カウンター、ドアノブ、ドアののぞき穴、各種スイッチ、椅子、つり革、網棚、ポスターなどなど。

- ・背の高さ・国際比較で検索すると、下記のHPが出てきた。

<http://www2.ttcn.ne.jp/honkawa/2188.html>

平均身長、男性ではオランダの 181.7 センチ、女性では、アイスランドの 168 センチが一番高く、低いのは、男性ではインドネシアの 161.8 センチ、女性では、モルディブの 149.5 センチとなっている。それぞれの高低差は、約 20 センチある。

- ・例えば、ドアののぞき穴、オランダの男性と、モルディブの女性が、一緒に住む家では、何センチの高さにしたらよいか？

更に、車いす使用者と非使用者が、一緒に住む家のぞき穴の高さは？

- ・見渡すと、異なる高さへのニーズには、いくつかの回答が既に存在している。

背の低い人にあわせ、背の高い人はしゃがんで使用する。

男性の縦長小便器のようにどんな高さの人でも使用できるようにする。

使う人によって高さが可動できるようになっている。

もう一つは、異なるやり方でその目的を達成する。

例えば、ドアののぞき穴の場合、来た人がモニターに映るインターホンにするなど。

それにしても、そのモニターの高さの課題は残る。

- ・2020 年にむけて、さまざまな課題への貴重な検討が改めて始まっている。

（星川 安之）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>